

行政報告

令和2年第6回定例会

発熱者の受診方法が変更されました 観光客数・宿泊客数が前年比80%まで回復 旧鹿角パークホテルの再開を支援

令和2年第6回鹿角市議会定例会が11月27日から21日間の会期が開かれ、補正予算案などの議案が審議されました。初日に行われた市長の行政報告の概要は次のとおりです。

■新型コロナウイルス感染症対策

11月に入り、感染者数が、全国的に急激に増加したことにより、第三波の襲来とされています。

本市でも感染者が確認されたことを受け、市では直ちに「鹿角市新型コロナウイルス感染症対策本部会議」を開き、市ホームページやメール配信サービス、コミュニティFMのほか、臨時広報を全戸に配付し、「人と人の距離の確保」や「マスクの着用」、「手洗いや咳エチケット」、「3密の回避」などの感染症対策の徹底を促すとともに、併せて、個人の特定や憶測による情報拡散など、感染された

方々やそのご家族などへの誹謗中傷や差別的な言動を慎み、冷静な対応をしていただくよう、継続的に周知を行ってまいります。

■地域間交流の推進

11月20日に、本市での大学生の長期調査研究活動を通して関係性を深めてきた学校法人武蔵野大学と「包括的連携協力に関する協定」を締結しました。

これにより、大学1年生の研究活動に加え、2年生以上の学生の専門的な調査研究活動が実施されることから、サテライトキャンパス機能の構築が期待されます。大学との連携をさらに深め、学びの力を地域に、地域

の力を学びに循環させる域学連携によって地域の活性化につなげます。

■ふるさと鹿角応援寄附

11月24日現在、寄附件数は約6640件、金額では約8534万円となっており、寄附額の多かった前年同期と比較して、ほぼ同額で推移しています。また、12月10日からは、新たに三越伊勢丹ふるさと納税のポータルサイトを追加し、利用者層の拡大を図ります。

例年、寄附額が大きく伸びる年末に向け、返礼品協力事業者との連携を密にし、りんごや米、きりたんぼなど、本市が誇る特産品の魅力を発信しながら、よ

り多くの方々から応援いただけるよう取り組みます。

■地域コミュニティの維持と活性化

自治会役員のみならず、世代間の交流促進など、自治会が抱える課題の解決を図るため、毎年、地域づくりリーダー研修会を行っており、今年度は、新たに「地域の女性リーダー育成事業」と合同で開催し、女性や若者の自治会活動への参加を促しています。

引き続き、コミュニティ活動の維持や活性化が図られるよう、支援してまいります。

■発熱患者の相談、診療、検査体制

発熱などの症状がある患者については、まずはかかりつけ医などの身近な医療機関に電話で相談を行った上で、医療機関の指示に従って受診する方法に変更されました。変更内容について全戸配付の臨時広報や市ホームページに掲載し、市民が適切に相談や受診をしていただけるよう、継続的に周知を行ってまいります。

■認知症対策

今年度から、認知症サポートからステップアップする「オレンジサポーター」の養成を開始し、これまでに22人を認定しているほか、認知症に対する理解を深めるため、10月10日には、「認知症市民セミナー」を開催し、約150人の参加がありました。引き続き、地域で高齢者を支える体制づくりに積極的に取り組みます。

■令和2年産米の作柄

出穂後の好天により登熟および生育が順調に推移したことが

ら、現時点で一等米比率は90.7%となり、前年から3.3ポイント上昇しています。また、本市を含む県北地域の作況指数は「105」の「やや良」で、10アール当たりの予想収量は、

表 平成30年比30%増の58kgと公表されており、十分な収穫量を確保できたと考えています。

■観光振興

9月1日から、3千円の助成で地域の特産品などを提供する宿泊プラン「ゴールドプラン」を販売しており、10月末現在で、約1万8千泊分が販売されていますが、引き続き多くの方に利用いただけるよう、PRを継続します。

また、市の宿泊応援プランは、秋田県プレミアム宿泊券や国のGoToトラベルとの併用が可能であることから、それらとの相乗効果もあり、観光客の入込みが徐々に増加し、観光客数および宿泊客数は、前年比約80%まで回復しています。

■旧鹿角パークホテルの再開への支援

本市出身の実業家が、ホテルの新たな経営体となる鹿角プランニング株式会社を設立し、11月12日には土地・建物を取得し、ホテル事業の再開に向けた改修工事が実施されることになりました。

こうした経緯を踏まえ、市では、ホテルが周辺の飲食店や納入業者、タクシー・代行業などへ与える影響が非常に大きく、再開を待ち望んでいる多くの方々の声に応えるためにも、一日でも早くホテルが再開されるよう積極的に支援します。

■コロナ禍における経済・雇用対策

10月31日現在で、コロナ対応資金の借入に対する利子補助助成120件、地域雇用維持支援金24件、事業継続支援金180件の申請を受け付けています。

■プレミアム付飲食券

11月27日で、飲食券の販売率は約7割となっています。販売取扱所を増やしております。

すので、多くの方々に積極的にご利用いただき、コロナ禍で苦境に立たされている市内飲食店を応援いただけるようPRしてまいります。

■学校再編計画

令和3年度からの「柴平小学校」への統合を控え、花輪北小学校で10月24日に、平元小学校で10月31日に、それぞれ実行委員会主催による閉校記念事業が開催されました。今後も、統合校の開校に向けた準備を計画的に進めます。

■各種スキー大会

第76回国民体育大会冬季大会スキー競技会については、2月18日から21日までの4日間の日程で、また第94回全日本学生スキー選手権大会については、2月24日から28日までの5日間の日程で開催される予定であることから、大会の開催に万全を期します。

総務課 行政班

☎ 30・0203



行政報告を行う児玉市長



武蔵野大学との包括的連携協力に関する協定を締結



地域づくりリーダー研修会を開催



市内各地で新米を収穫



旧鹿角パークホテルの再開を発表



平元小学校の閉校記念式典